

# 外国人集住地域における 多文化プレスクールの展 開：子どもの文化的多様 性を保障するための「イ ンクルーシブ保育」を探 求する

## 松山ゼミ

日本福祉大学が所在する愛知県は、外国人人口が東京都に続き全国2番目に多い地域です。また、人口比で見ると、愛知県（2位）、三重県（3位）、岐阜県（4位）、静岡県（7位）と全国的に外国人との共生を問われる地域となっています。特に、言葉、生活、就学、学習など子どもたちの生活を取り巻くさまざまな困り感を乗り越える支援が必要とされています。日本福祉大学子ども発達学部の松山ゼミでは、子どもたちと保護者に対する早期支援の提供を目指し、多文化保育の理論と実践を学び、多文化プレスクールの活動に参加しています。なお、多文化保育に関する詳細は、大学のHPを参照できます。（[HTTPS://WWW.N-FUKUSHI.AC.JP/70TH/SPECIAL\\_PROJECT/P42/](https://www.n-fukushi.ac.jp/70th/special_project/p42/)）



2023年10月18日

松山ゼミ4年生と3年生の共同活動を展開しました。今回のテーマは「秋を楽しむ」でした。まずは子どもたちと一緒に公園で落ち葉や木の実を拾い、秋らしい自然物の収集を楽しみました。また、それらの自然物を思い思いに並べたり、絵を描いたしながら作品を作り、最後にみんなで大きな木を作りました。みんなで共同して作り上げた大きな木が完成した時は、子どもたちや保護者から「わー」と歓声が出ました。季節を感じることで、自分の思いを表現すること、友達と共同作業をすることなどを通して、子どもたちのドキドキやワクワクを深めていくことを大切にしています。やさしい日本語を選択し子どもたちにどのように伝えるか、日本の文化や習慣を遊びの中で伝えていく方法などを学生たちは工夫しています。



2024年2月10日

2月の活動は「節分」がテーマでした。地域で開催される伝統的な行事「鬼祭り」と関連させ、子どもたちと豆まきを楽しみました。体を動かしながら、ワイワイ・ガヤガヤと鬼を倒していく活動は、終了時間をすぎてもマダマダやりたい！という子どもたちの熱気を感じる時間になりました。手遊びと紙芝居を組み合わせた活動は、様々な方法で文化を伝承していく方法を考える機会になりました。各自で制作した柀に、日本語で名前を書く子どもたちの姿は、就学への準備を進める際に保育活動を通してできる言葉活動の工夫です。子どもたちが安心して遊びに夢中になれる空間づくり、保護者との連携を意識した活動、一人ひとりの文化への気づきを大切にする活動を学生同士で議論しながら作り上げています。



1月の活動は大学HPの「トピックス」に掲載されています。合わせてご覧ください。（<https://www.n-fukushi.ac.jp/education/academics/education-and-psychology/news/2024/02/16/33fc36d4a727f8de9b1d7eea804c01bbf8a2a05f.html>）